



SPIRAL GARDEN 淡路島の現代の木と土の民家

リビングルームとキッチンを見る



外観将来イメージ

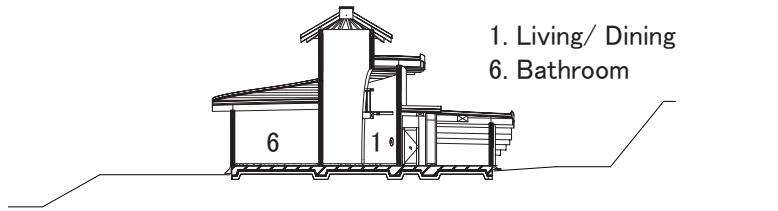


キッチンからリビングルームを見る

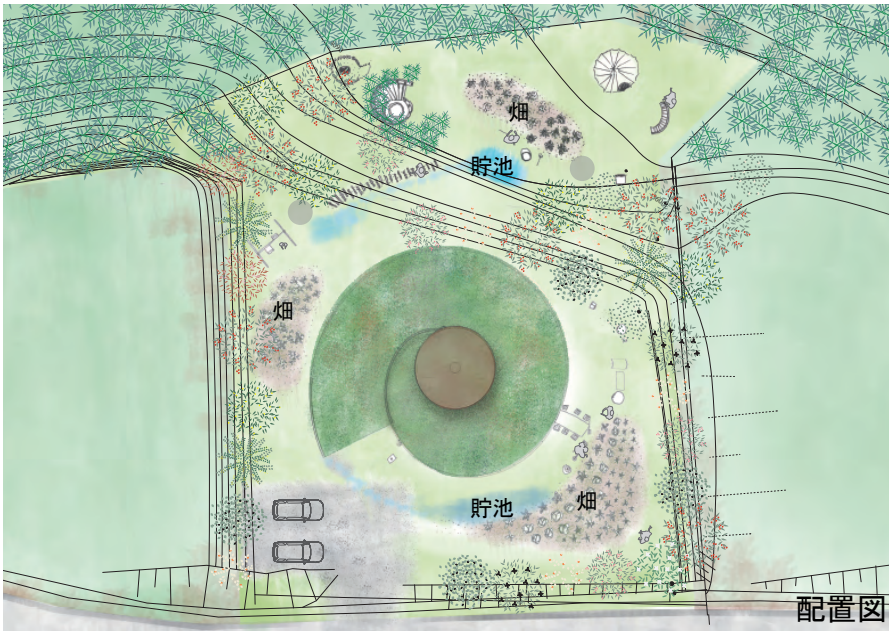


2階から1階を見る

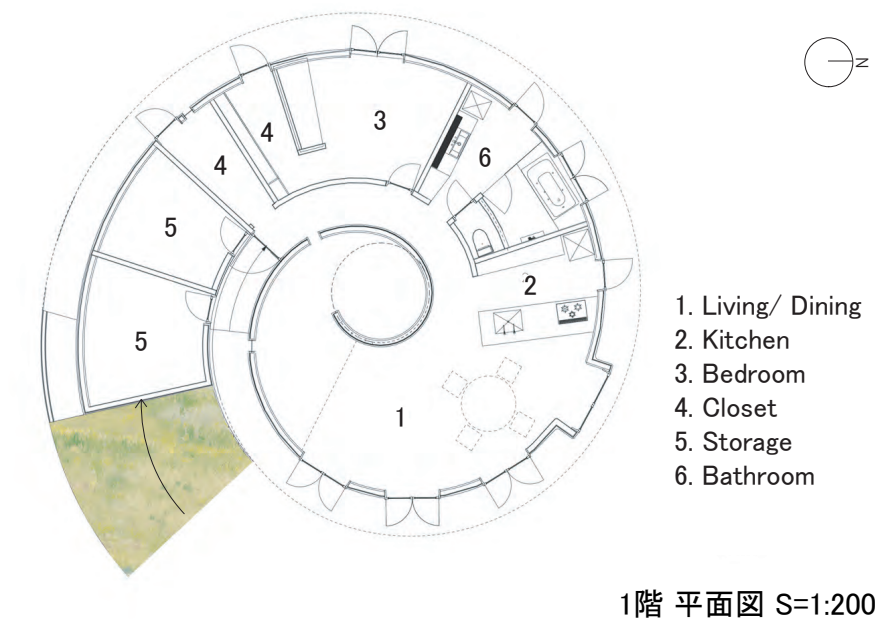
淡路島の斜面地に家族4人のための住宅である。淡路島の温暖な自然環境を活かし、約1000㎡の敷地全体を計画した。この住宅は寝室、収納や水廻り以外は螺旋状のワンルームの空間をもち、中心部には、家族が集う7.5mの高さの吹抜空間をもつ。又中心に向かうほど屋根の高さが上昇する。この吹抜空間には直径600mmの丸窓を設け、夏には開放し、上昇気流を生み出し、冬には下部空間で蓄熱した暖気を上部空間に送る働きをする。淡路島に残る民家を継承しようと特異な形態でありながらも、在来木造的な考えで計画した。螺旋を描く木構造は、中心にある円筒の柱から放射状に梁を架けられ、内部空間に表われる。形状が特殊なため機械を用いたプレカットではなく、すべて大工による手加工となっている。内外の壁は、敷地周辺で採れた竹小舞を下地として淡路島の土で仕上げ、床は三和土土間で仕上げた。屋根は大地から生態が連続しながら渦巻き状に上昇する施主が育てていくスパイラルガーデンである。形状が螺旋状であることによって、様々な方向と高さが得られるため日照と湿度の状態に応じて様々な植物を植えることができる。さらに屋根に降り注ぐ雨水は、計画したスウェールによって、一気に流れ落ちることなく徐々に下り、すべての生物たちを潤しながらため池に導かれる。ため池の水は夏場には住宅内に冷気を送りこむ。木と土を用いて、常に光、風、水、緑の恩恵を感じれる生活の場をつくらうとした。



断面図 S=1:400



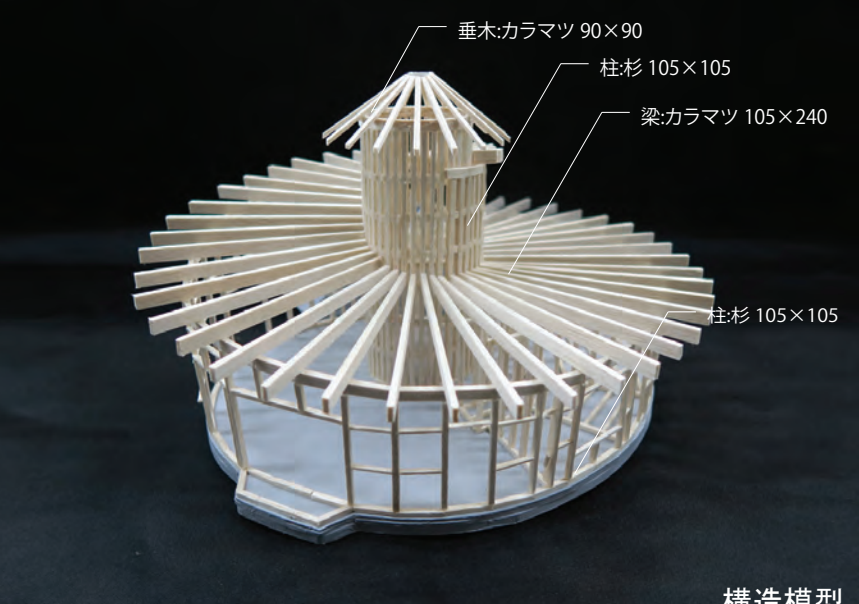
配置図



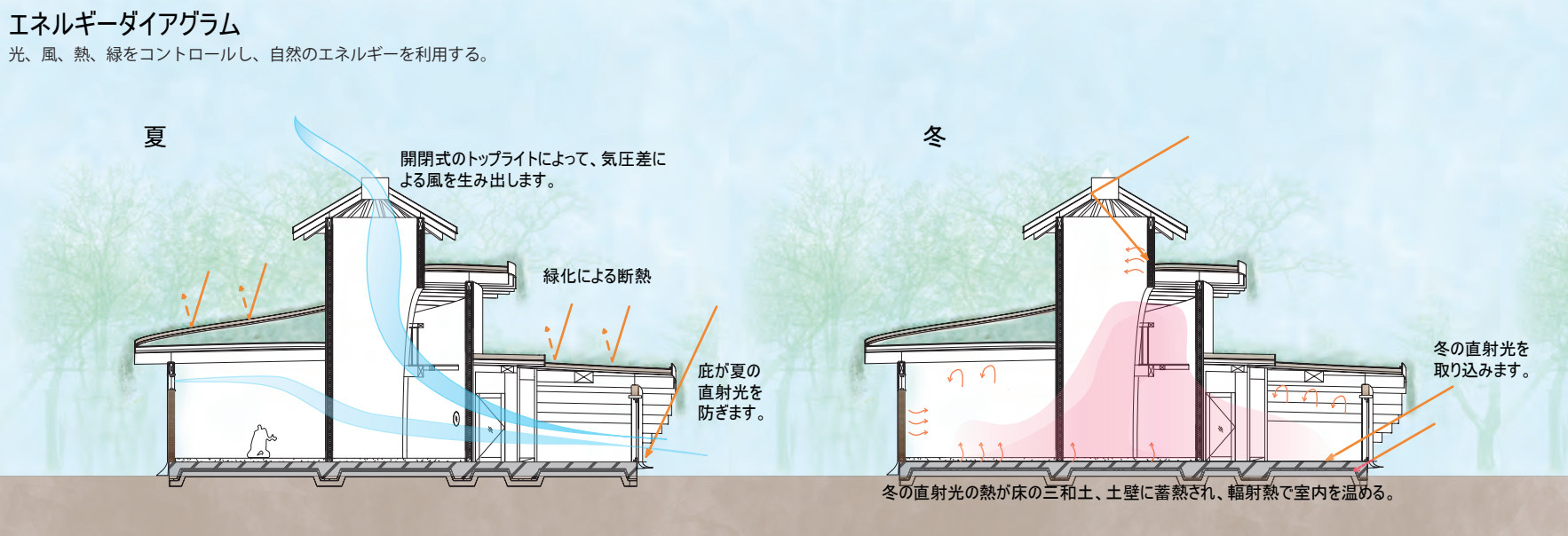
1階 平面図 S=1:200



トップライトをみる



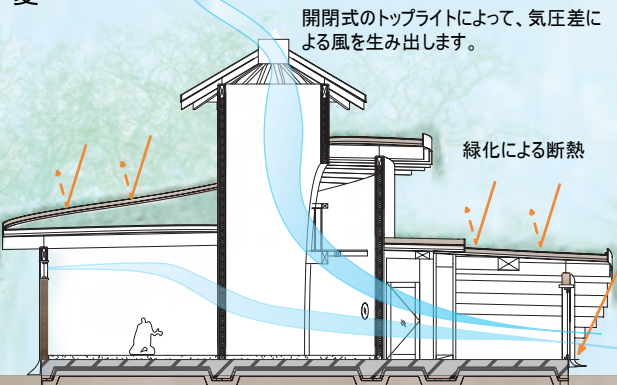
構造模型



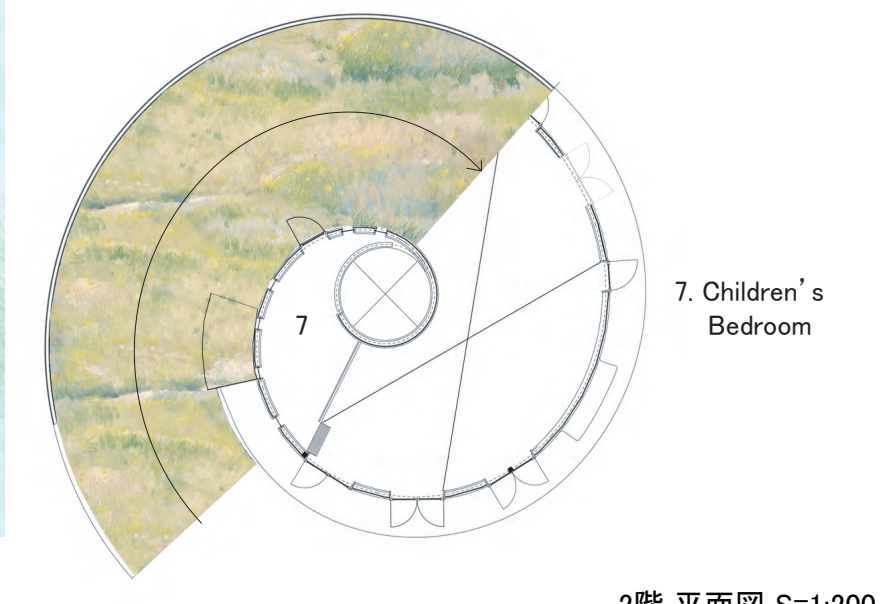
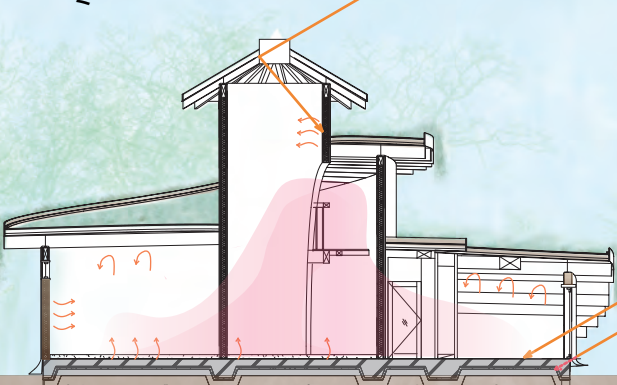
エネルギーダイアグラム

光、風、熱、緑をコントロールし、自然のエネルギーを利用する。

夏



冬



2階 平面図 S=1:200



上棟時